

# 文民統制崩壊・安倍内閣

統合幕僚監部所属の幹部自衛官が、小西洋之参院議員（当時民進党）に「国益を損なう」などと暴言を吐いたことに対して、防衛省は、昇進に直接影響する懲戒処分に至らない訓戒処分とした（8日）。軍事史に詳しい織田厚明治大学特任教授（政治学）は次のように批判しています。

今回の「訓戒」という極めて軽い処分から、防衛省が今回の事件を軽微な問題として捉えていることが明らかとなりまし

た。それが文民統制の根幹に関わる極めて重大かつ遺憾な問題という認識が全く欠落しているのです。

今回の事案は3等空佐の個人の問題で、自衛隊組織に直接関わる事案ではないとし、幕引きを図ろうとする姿勢が透けて見えます。国民の代表である国会議員は、まさに文民（シビリアン）の代表であり、その文民にどう喝まがいの言葉や不服従の姿勢を、行為であれ、言葉であれ表明することは、明らかに文民統制や

文民優越の原則を否定するものです。武官である自衛隊員は、文官・文民に服従を誓っているはずですから。それによって民主主義が毀損（きそん）されることを防いでいます。

戦前、国家総動員法制定に関わる審議の途中、佐藤賢了中佐の「だまれ事件」（1938年3月）がありました。同法の危険性を説く帝国議会（現在の国会に相当）議員に向かつてどう喝したので

す。佐藤中佐へのとがめはなく、しばらくして大佐に昇進します。そこから軍国主義の時代に拍車がかかりました。そうした戦前の教訓を踏まえて、戦後、文民統制が編み出されたのです。

防衛省が公表した文書や記者会見の内容は、このような文民統制の歴史を無視したものであって、その役割や機能がどこにあるか、全く理解していません。自衛隊組織が民主主義と共存していくために編み

## 第31回 笑顔いっぱい 高石子どもまつり

五月二十日、第三十一回高石子どもまつりが行われました。雨天が心配されましたが、当日は見事な程の青空でした。

オープニングは、高石市民音楽団ジュニアバンドの皆さんによる素敵な演奏です。



オープニングのジュニアバンドさん

泉北教組は、毎年手づくりコーナーでスライムを担当しています。四百枚準備した整理券が、開会前に配布が終わるほどの好評ぶりです。子どもたちが好きな色のスライムを作ります。できたスライムをケースに入れ、大切そうに持ち帰っていくのが印象的でした。



民商さんのメリーゴーランド

今回の新しい取り組みとして民商さんの「メリーゴランド」、高南中学校・合唱部の皆さんの総合司会があります。

また、恒例の丸太切り、スーパースライム、段ボール迷路など、多くのコ



楽しそうなスライムづくり

ナーがあり、どのコーナーも無料で楽しめます。エンディングは、取石中学校・合唱部の皆さんによる「ア・メ・ソング・メドレー」「栄光の架け橋」です。とてもすてきなでした。当日参加された皆さん、お疲れ様でした。



取石中学校・合唱部の皆さん

## 「黙れ」から「話さう」へ 豪傑武人の跳躍

新聞班長になった佐藤大佐



佐藤中佐は終戦時陸軍中將に昇進

出された基本原則である文民統制が、このような形で内部から食い破られている現実を私たちはいま目のあたりにしています。こうした現状を大変に憂慮しています。

防衛省及び自衛隊の今回の問題への姿勢は、民主主義自体を軽んじることになり得ます。文民統制が十分機能してこそ、民主主義社会の充実が担保される、という認識を私

たちはこの機会に深めていく必要があります。イラク日報隠蔽問題をもち出すまでもなく、安倍内閣の文民統制は崩壊しています。

「戦争法」を廃止させよう。子どもたちや自衛隊員を戦場に送るな。